武雄市立西川登小学校　『校訓』 ただしく・やさしく・たくましく

学校だより　# 西っ子

3号　令和8年4月17日
文責：校長　大宅　恒文

人とのかかわりを大切にしながら　よく遊びよく学ぶ子　～みんなで広げよう　西っ子の「わ」～

自分の命は自分で守る　～交通安全教室～

４月 14 日(火)交通安全教室を開催しました。前日からの雨で、体育館での実施となりました。武雄警察署、西川登駐在所、交通指導員の方々、武雄市役所から、たくさんの方々にご参加いただき、お手伝いをしてもらいました。はじめに、武雄警察署の樋口交通課長より御講話をいただき、その後、下学年【１～４年生】は「道路の歩き方」「横断歩道の渡り方」について、道路に見立てたコースを実際に歩いて学びました。上学年【５，６年生】は、自転車に乗る前に点検することを知り、こちらも模擬乗車をして、交差点や踏切、障害物があるときなどの通行の仕方を学びました。

歩行者は、歩道のあるところは歩きやすいのですが、歩道がないところは周囲の安全をより確認しながら歩行しなければいけません。

また、自転車については、自分の体に合った大きさの自転車を選ぶことはもちろんですが、ふらふらせずに進むことができる、思ったところできちんと止まれるといった最低限の技能が必要です。体育館でのコースでは低速で進むことが難しかったようで、若干ふらつきが見られました。６年生は、１年後には自転車通学をする子も多いと思いますので、安全に乗れる技術も必要になりますね。自転車に乗るときには「頭にはヘルメット」を忘れずにお願いします。

一方で最近ニュースでも話題となっているのが、自転車の交通反則通告制度(いわゆる「青きっぷ制度)です。小中学生は対象ではありませんが、「ながら運転」などのわき見運転、スピードの出しすぎ、飛び出しなどは当然危険行為になります。自分の命だけでなく、歩行者の命も危険にさらされる行為です。「止まる」「見る」「待つ」という行動ができれば安全性は高まります。まずは、ゆとりを持って行動すること、交通ルールを確実に守ることが命を守ることにつながります。

一つしかない命です。危険な目にあってから、後悔しなくていいように落ち着いて行動してほしいものです。

体育館での模擬練習でした。自転車は高学年だけでしたが、実際に乗っている子ども達は低学年にもいますのでご家庭でもご注意ください。※ヘルメット着用、自転車安全点検の実施をよろしくお願いします。

地域の方々や駐在所の中島さんが毎朝、防犯パトロールで巡回してくださっています。本当にありがとうございます。

おいしい給食　～初めての給食　１年生～

１年生にとっての最初の献立は、１３日(月)のカレーライスでした。

本校は、自校式でつくられる給食ですので、３(４)名の調理員さんが、心を込めて調理をしてくださいます。入学したての１年生は、おいしいカレーにとても満足気でした。

お腹を満たすことは、心（精神）の安定につながるだけでなく、体づくりややる気の向上にも関係します。これから学校で過ごす時間が長くなり、様々な活動や学習時間が増えます。給食はもちろんですが、朝ご飯をしっかり食べて元気に登校してほしいと思います。